



させほ夢大学

発行●公益社団法人 させほ夢大学
編集委員会
事務局 / 〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545
https://www.yumedai.com/
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

夢のつづき

させほ夢大学会報

No.334 (2024・2)

令和5年度 (第32期) 最終号



令和5年4月20日(木)

興梠 一郎氏

テーマ●中国はどこに向かうのか
—習近平体制の現状と課題—



令和5年5月18日(木)

野村 萬斎氏

テーマ●この辺りの者でござる
—狂言のダイバーシティ&インクルージョン+SDGs—



令和5年6月15日(木)

門田 隆将氏

テーマ●時代を読み解く



令和5年7月20日(木)

中林 美恵子氏

テーマ●激変する国際情勢と日本の課題



令和5年8月17日(木)

小林 弘幸氏

テーマ●健康になる7つの習慣
—健康は自律神経のバランスで決まる—



令和5年9月18日(月・祝)

元谷 芙美子氏

テーマ●私が社長です。



令和5年10月19日(木)

三遊亭 好楽氏

テーマ●人生好んで楽しもう



令和5年11月16日(木)

由紀さおり氏・安田祥子氏

テーマ●由紀さおり・安田祥子
童謡コンサート2023



令和5年12月14日(木)

千田 嘉博氏

テーマ●徳川家康と天下人の城



令和6年1月11日(木)

野村 忠宏氏

テーマ●折れない心

令和五年度
ご登壇頂いた講師の方々





野村忠宏氏

演 講 会 夢 大 学 せ ぼ さ

折れない心

講師 / 野村 忠宏 氏



野村選手といえは強く印象に残っている一場面がある。引退試合でのこと。豪快に勝ち、豪快に敗れ、座り込んだ時の唾然とした表情である。会場の割れんばかりの歓声と拍手。「豪快に負けたな！」と語った言葉がさらに印象を強くしたのかもしれない。

講演に入る前に映し出された野村選手の数々の思い出のシーン。どれもこれも懐かしいシーンで、一気に「野村ワールド」に引き込まれてしまった。残念ながら私に強烈な印象を残した場面は含まれていなかったが、改めて当時のことが次々と思ひ出されてきた。

前人未到のオリンピック3連覇を果たした後、度重なる怪我に悩まされながらも戦い続けてきた野村選手。北京・ロンドン五輪も目指したその闘争心はどこから湧き上がったのか。満身創痍になっても柔道に向き合い、異例ともいわれる40歳まで現役を続けられたのはどうしてか。講演の内容は私の疑問の全てに答えを出してくれた。

「今だ！」と感じた時には、もう「相手を投げている」というのが理想だそう。ただ、チャンスは試合の中で、2、3回しかないと言語。これが世界のトップ選手たちの現実なのだろう。

野村氏の語り方は、私にとっては何となく「乱取り」をしている気分だった。一言一句が心に響く。他人が何と言おうと、自分の信念を貫き、真剣に続けていれば必ず見えてくるものがある。新年早々力強い言葉をい

ただいた。今年が良い年になりそうだ。

今年度、一つ残念だったのは、講師のイラスト(似顔絵)がなくなりました。私は53歳から今までに、福岡県をメインに九州北部の約20か所で、似顔絵を描いてもらい、合計38枚を額縁に入れて自宅に飾っています。それぞれの似顔絵師の作風が光る私の顔を見比べるのが楽しく、写真とは違う魅力があります。

講演に先がけて、能登半島地震被災への黙祷が行われたように、大変な幕開けとなった本年に、夢と希望を与えてくださった素晴らしい講演で

佐賀市ウズメン公園 松井 昭夫

今できることを精一杯やろう



■お話を聞くまでは、オリンピックで金メダルを取った人ということしか知りませんでした。しかし、野村さんの話には、努力もありましたが、迷いがあり、アスリートの方も私のように弱い心があるんだと知りました。父や師匠の言葉で変わったこと、自ら考え、意識と取組を変えて、悔しい気持ちも力にして挑戦した野村さんの言葉は、自信に満ちていました。

私も日々をこなすだけでなく、自らを見つめ、前に進みたいと思いました。令和5年度、様々な人の講演を聞いてよかったです。ありがとうございました。

佐賀県武雄市●中川 葉子

■今日は、令和5年度最後の講演会。1年が過ぎるのは早いものですね。「夢のひろば」の高校生のバトントワリング、すばらしかったですよ。若い子たちからパワーをもらいました。

オリンピック3連覇の講師、すごい人です。1%の可能性でも信じ、チャレンジを続けたいと努力をされる姿、感服です。また来年留年できますよう！

佐世保市赤崎町●木村 典子

■新年が明けたとたん、目を覆いたくなるニュース。「夢のひろば」の高校生のチアバトンダンスを見せていただき、明るい気持ちになりました。ありがとうございました。「若さ」とは、本当にいいものだと思います。

講師の野村忠宏さんは、小さな体で3回もオリンピックの金メダルを取られ、それに向けての考え方や努力は、大変なものだったと思います。金メダルを見せてもらい、感動しました。

佐世保市大宮町●田中 美潮

■野村さんの話を聞き、人生の心の取り組み方を教えてもらいました。今、私は63歳ですが、今の私に足りないものを教えてもらいました。

今から自分なりの目標をもって、1日1日を精一杯生きていきたいと思っています。「継続」、この言葉を大切にしていきたいです。ありがとうございました。

佐世保市陣の内町●井手 孝弘

「折れない心」で背負い投げ！

した。起承転結でわかりやすいお話を、本当にありがたうございました。

自ら好きで選んだ道

佐世保市大和町 新北 博美

3歳から40歳で引退までの長い柔道生活。ご自分を客観的に見つめ、目標に向かって信念をもって最善の努力を続けていく。その結果のオリンピック3連覇。なんて身も心も強いんだらう。やはり、子どもの頃にいろいろな体験をしてみて、自ら好きで選んだ柔道。そのことが、険しい道のりを続けていくことができたと要因の一つだと、小柄な中にも未だにエネルギーが溢れる野村さんを見て思いました。私には、なかなか一途に前を見て、突き進み続けていく強さがなく、何度もいつも歩みが止まってしまいます。ゆったりでも、何か小さなことでも、明確な目標をもたなければと思いました。

物事に熱心に取り組み

西松浦郡有田町 庄村 雅子

私はスポーツにあまり興味がないのですが、柔道家の野村さんの記憶は、以前「紫綬褒章」をもらわれた時、テレビを見て、とても笑顔のすばらしい方だったことを思い出しました。したがって、オリンピックで3連覇を成し遂げた野村さんの講演は、大変興味がありました。

小柄な体格からは、背負い投げが得意だとは信じられませんが、粘り強く取り組んでこられた結果ですね。金メダルを取るという覚悟で常に前に出て攻撃、不利でも焦りを顔に出さない、最後まで絶対に諦めないという、この信念は私もお手本にし、実行に移したいと思えました。見せていただいた3個の金メダルはキラキラと輝き、これまでの野村さんの人生を褒め、讃えているように見えました。

実力が伴ってなく、必要がないプライドにがんじがらめになった時は、開き直って今持っている力の全てを出し切れれば、今の自分の実力がわかる。一旦プライドを捨て、持つべき誇りで心を変え、アテネで勝って努力が実ったとのこと。「折れない心」の表れだと思いました。これまでいろいろな方々の

講演を聞く度に、随分と勉強になりました。来年度も是非留年させていただき、学びの1年にしたいと思います。

限界を越えた先に

北松浦郡佐々町 法本 安子

能登半島地震、羽田の航空機衝突事故と、惨烈な幕開けの令和6年。犠牲者への黙祷が始まった今回の夢大学。32期のラストを飾るのは、柔道界のレジェンドであり、前人未到のオリンピック3連覇を成し遂げた野村忠宏さん。

孤高の頂に立ちながら、今なお挑戦者たらんとするその道のりは、決して順風満帆ではなかった。柔道を始めた少



1月夢のひろば 佐世保商業高等学校 バトントワリング部「チアバトン・ダンス」

年時代から、五輪3連覇、そして現役引退までのプレッシャーとの闘いは想像に余りある。2連覇の後、3連覇へもう一度、オリンピックへの心、そのモチベーションをどう持ち続けるのか。その葛藤の中で、プライドを捨て、勝つことへの模索。そして今までのままではいけない、何かを変えなければと気づく。それは「自分の心」だと。それから、これまでとは違う強さをもつことができた、人生の転機と言える。

人生がうまくいかない時、いかに考え行動するか、まさに「折れない心」の大切さを恩師から学び、弱い自分からの脱皮。未来への期待、柔道こそが我が人生と、「感動」を発見。限界を越えた先に、新しい自分がある学びの大切さ等、多くのことを学びました。改めて、野村さんありがとうございました。また、スタッフの皆様、1年間お疲れ様でした。感謝の心に尽きます。「人生は学び続ける旅はるか」

人生の達人に学ぶ

佐世保市南風崎町 横山 春美

オリンピック3連覇の野村忠宏氏はすごかった。登場するその凛々しい姿は、人となりを象徴しているようだった。

柔道家の祖父から基本と礼儀の大切さ、その競技を好きになって、のびのびとやることを教わったとのこと。中学生から柔道に専念したが、小柄で女子にも負けるほど弱かったが、諦めず、今日できることを精一杯頑張り、その悔しさを大きな力に変え、高校3年時は県大会で優勝された。

また、その後の天理大での指導者、細川氏との出会いが大きかったと話された。転機を活かせるか、心技体の重要さ、一試合で限界まで出し切る、努力、技を磨くこと等、指導を受けた。得意技は背負い投げだが、相手に研究され、周りの期待があるため、変化に対応し、進化せねばと努力。それが結果し、シドニーオリンピックでは全て別の技で金メダル。

その後、サンフランシスコに語学留学。帰国後、再び柔道に取り組んだが、2年間のブランクは大きく、弱気になり諦めたくなった。現在は大学教授、柔道の普及、講演活動など社会貢献に東奔西走。不断の努力と真摯な生き方の結果、今日の氏がある。人生に有意義な示唆に富む金言や経験論をいただきました。今後益々のご活躍を祈念してやみません。

令和6年度(2024年度)第33期)講演会予定

令和6年
4月18日(木) 18:30~20:00
筑波大学名誉教授
中村 逸郎氏
『ロシアの闇とは何か ~激動の国際情勢~』

5月15日(水) 18:30~20:00
感性リサーチ社長
黒川 伊保子氏
『人生に効く脳科学
~脳が創り出す男女のミゾ、人生の波~』

6月20日(木) 18:30~20:00
狂言師
茂山 千五郎氏
『「狂言」という名のお芝居』

7月18日(木) 18:30~20:00
エッセイスト・コメンテーター
安藤 和津氏
『明日を素敵に生きるには』

8月22日(木) 18:30~20:00
精神科医
和田 秀樹氏
『からだの健康 こころの健康』

9月19日(木) 18:30~20:00
駒澤大学陸上競技部総監督
大八木 弘明氏
『育てて活かして勝つ ~覚悟と挑戦~』

10月17日(木) 18:30~20:00
弁護士
若狭 勝氏
『これで分かったうそを見抜く力、見破る力』

11月21日(木) 18:30~20:00
歌手
加藤 登紀子氏
『加藤登紀子トーク&ライブ「百万本のバラ」』

12月19日(木) 18:30~20:00
将棋棋士・八段
杉本 昌隆氏
『師匠が語る「弟子・藤井聡太」という才能』

令和7年
1月16日(木) 18:30~20:00
国際文化人
デヴィ・スカルノ氏
『人生のモチベーション』

※ 講師の都合や天災、その他不測の事態により、開催日時の変更や延期、または講師を変更して代替開催する場合があります。

事務局だより

★野村忠宏さん、ありがとうございました。

「おっっ！」
金メダル3個の登壇に、会場からは驚きと歓喜の声があげられました。
オリンピック3連覇の偉業の証しです。野村忠宏さんの「折れない心」がもたらした輝く金メダルです。

背負い投げで一本をとる雄姿に、どれだけ胸がスカッとしたことか。当時、テレビに釘付けになったことを思い出します。

今回の講演会では、そんな「陽」の部分だけでなく、少年時代の弱かった頃の話や、オリンピック3連覇後の怪我との闘い等、「陰」の部分も話してくださいました。「折れない心」をモットーに、日々の努力を惜しまない野村さん。人生訓となる数々のお話、ありがとうございました。

★「若い」って何でしょう！

はちぎれんばかりの笑顔、ハツラツとした動き。「夢のひろば」出演の佐世保商業高等学校バトントワリング部の皆さん、本当にありがとうございました。

一つ一つの演技から、こちら「元気いっぱい！」になりました。年齢の若さを保つ

ことはできませんが、気持ちはいつまでも若いままでいたい、そう感じた「夢のひろば」でした。

★令和6年度の受講生募集について

今回も、多くの応募をいただき、誠にありがとうございました。コンピューターによる厳正な一括抽選を行い、結果は2月中旬にお届けする予定です。

当選された方は、当選通知に同封の「払込取扱票」で、指定の期限までに郵便局から払込みください。期限まで払込みがない場合は、キャンセル待ちの方を繰り上げ当選としますので、ご了承ください。期限までに払込みをされた方には、新しい「学生証」を3月下旬郵送でお届けします。

★感想文のお礼です。

令和5年度も、させば夢大学の会報「夢のつづき」に、多くの感想文をお寄せいただき、ありがとうございました。毎回の編集会議では、投稿された方々の思いや考えに、「なるほど」「すごい」という声がたくさん聞かれます。ただ、紙面の制約もあり、すべてを掲載することができないこともあり、申し訳ありません。

今後、皆様にも親しまれる会報づくりを目指し、さらに努力します。令和6年度も、よろしく願っています。